

令和2年度 登米市水道事業会計・下水道事業会計 決算概要と経営の現状

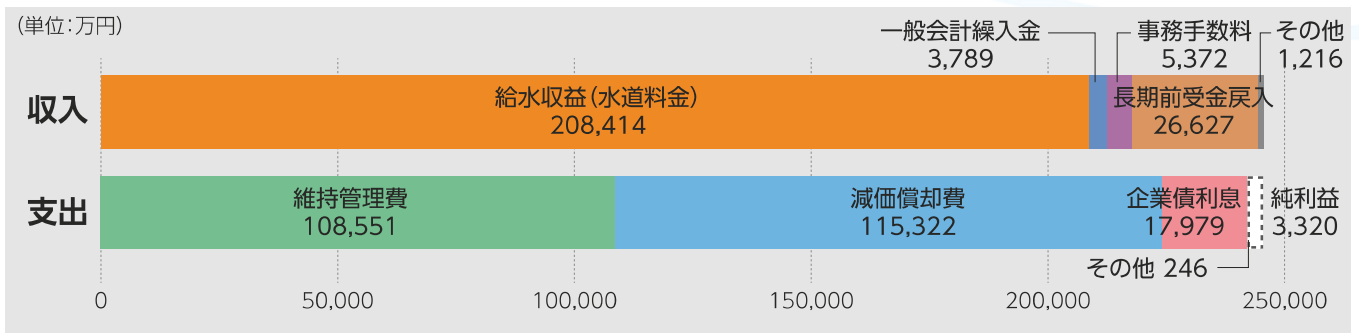
令和2年度登米市水道事業会計及び下水道事業会計の決算が令和3年第2回登米市議会定例会9月定期議会で認定されました。決算の概要としては、水道事業は3,320万円の黒字(純利益の発生)、下水道事業は、地方公営企業法(以下「法」という。)適用後初めての決算を行い6,594万円の赤字(純損失の発生)となりました。両事業の決算の概要と、経営の現状についてお知らせいたします。



1. 水道事業

(1) 令和2年度水道事業会計決算の概要

① 収益的収支の状況【消費税抜き】(水道水を皆さんに届けるための経費とその財源)



収益的収入・支出

単位:万円

収益的収入		収益的支出	
給水収益	208,414	維持管理費	108,551
一般会計繰入金	3,789	減価償却費	115,322
事務手数料	5,372	企業債利息	17,979
長期前受金戻入	26,627	その他	246
その他	1,216		
収入 計①	245,418	支出 計②	242,098
当年度純利益(①-②)		3,320	

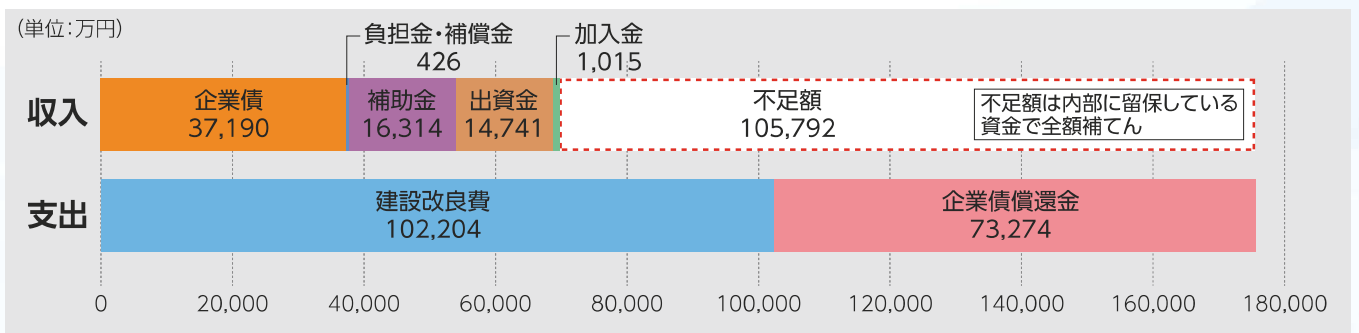
収益的収入は24億5,418万円で、このうち給水収益(水道料金)は収入全体の84.9%を占める20億8,414万円となりました。給水収益は近年、人口減少等の影響により減少傾向が続いていましたが、当年度は新型コロナウイルスによる生活様式の変化などにより、前年度より増加しました。

収益的支出は、24億2,098万円で、施設の維持管理費は支出全体の44.8%を占める10億8,551万円、減価償却費は施設更新等により前年度より増加し11億5,322万円、企業債利息は企業債残高の減少により前年度より減少し1億7,979万円となりました。結果として3,320万円の黒字(純利益)となりました。

減価償却費…浄水場や水道管、浄化センターや下水道管など時間の経過とともに価値が減少する資産について、その取得額を耐用年数に応じて各年度に費用として計上することをいう。

長期前受金戻入…減価償却の対象となる資産において、資産取得時に財源となった国庫補助金など、将来返還する必要のない財源を、資産の耐用年数に応じて各年度に収益として計上することをいう。

② 資本的収支の状況【消費税込み】(水道施設を整備するための経費とその財源)



資本的収入・支出

単位:万円

資本的収入		資本的支出	
企業債	37,190	建設改良費	102,204
負担金・補償金	426	企業債償還金	73,274
補助金	16,314		
出資金	14,741		
加入金	1,015		
収入 計①	69,686	支出 計②	175,478
不足額(②-①)			105,792

資本的収入は6億9,686万円で、建設改良費に充てるために借り入れた企業債や、国からの補助金、一般会計からの出資金などです。

資本的支出は17億5,478万円で、浄水施設機器更新や水道管の新規整備や更新、資産の購入費などの建設改良費で10億2,204万円、企業債の償還金(元金分)で7億3,274万円となりました。

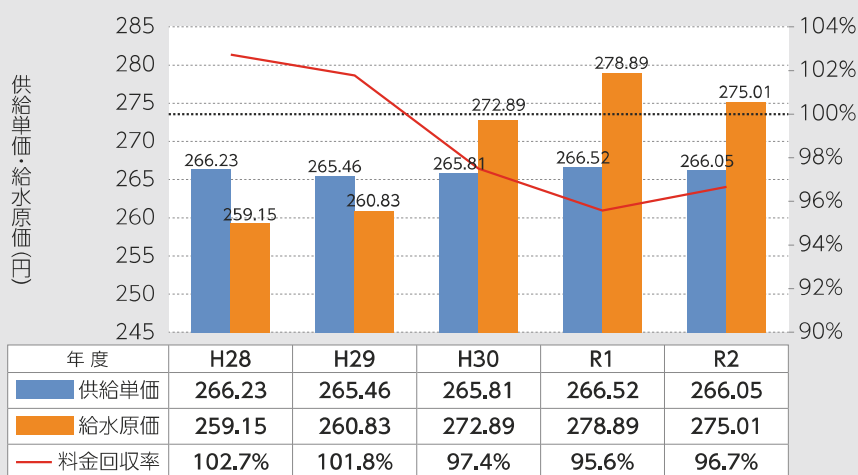
この結果、収支差引は10億5,792万円の不足となり、この不足額は内部に留保している資金で全額補てんしました。

建設改良費…浄水場や水道管、浄化センターや下水道管の整備など1年以上利用する資産を取得するための支出のことをいう。



(2) 水道事業会計の現状

料金回収率の推移 (単位:円)



料金回収率とは

給水に要する経費が給水収益(水道料金)でどの程度賄われているかを見る指標で、100%を超えることが望ましいとされています。

料金回収率

$$= \text{供給単価} / \text{給水原価}$$

- 供給単価
利用者の方からいただいた給水収益1m³当たりの単価
- 給水原価
水道水1m³をお届けするのに掛かった経費

登米市の水道事業における料金回収率は、施設更新等による減価償却費の増加などにより給水原価が増加し、平成30年度以降100%を下回っている状況です。維持管理費などの経費の更なる削減や適正な水道料金の確保が必要な状況と言えます。

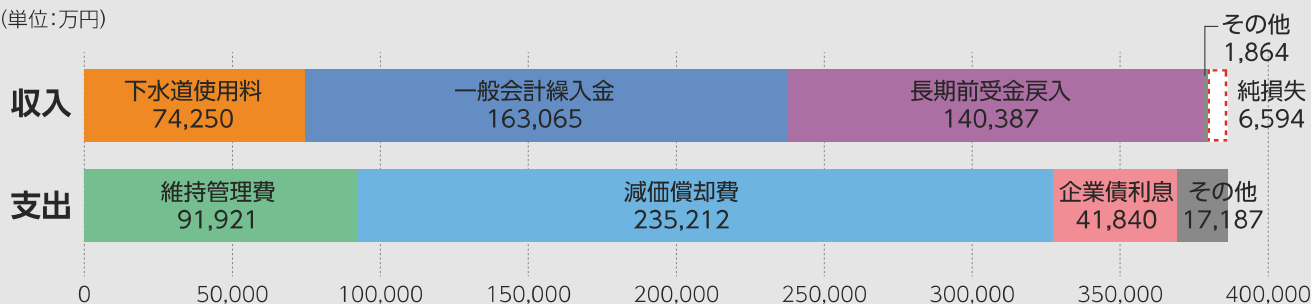
2. 下水道事業



(1) 令和2年度下水道事業会計決算の概要

① 収益的収支の状況【消費税抜き】(汚水・雨水を処理するための経費とその財源)

(単位:万円)



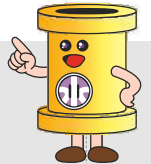
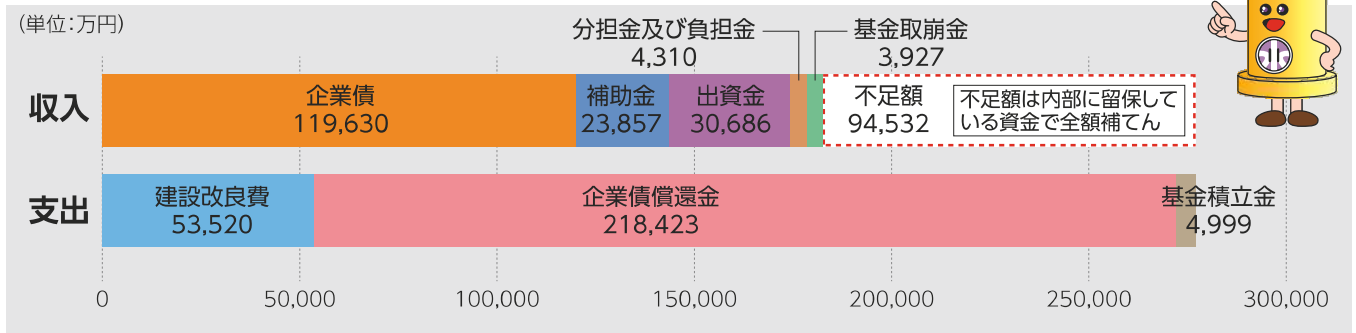
収益的収入・支出 単位:万円

収益的収入		収益的支出	
下水道使用料	74,250	維持管理費	91,921
一般会計繰入金	163,065	減価償却費	235,212
長期前受金戻入	140,387	企業債利息	41,840
その他	1,864	その他	17,187
収入 計①	379,566	支出 計②	386,160
当年度純利益(①-②) ※▲は損失			▲6,594

収益的収入は37億9,566万円で、このうち下水道使用料は下水道への新規接続者の増加などにより前年度より増加し7億4,250万円となりました。また、一般会計からの繰入金は収入全体の43.0%を占める16億3,065万円となりました。

収益的支出は、38億6,160万円で、施設の維持管理費は9億1,921万円、減価償却費は支出全体の60.9%を占める23億5,212万円、企業債利息は4億1,840万円となりました。結果として6,594万円の赤字(純損失)が発生しました。

②資本的収支の状況【消費税込み】(下水道施設を整備するための経費とその財源)



資本的収入・支出 単位:万円

資本的収入		資本的支出	
企業債	119,630	建設改良費	53,520
補助金	23,857	企業債償還金	218,423
出資金	30,686	基金積立金	4,999
分担金及び負担金	4,310		
基金取崩金	3,927		
収入 計①	182,410	支出 計②	276,942
不足額(②-①)		94,532	

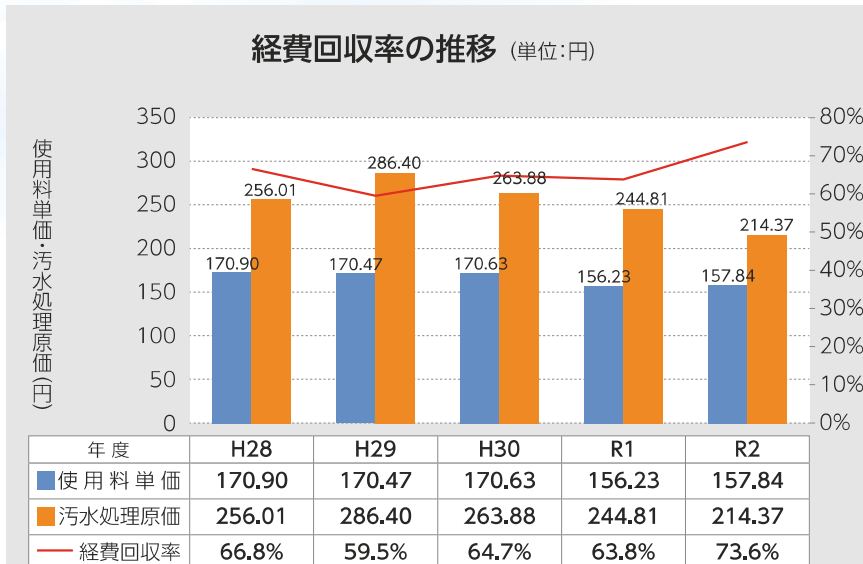
資本的収入は18億2,410万円で、建設改良費や企業債元金償還金に充てるために借り入れた企業債11億9,630万円や、国・県からの補助金、一般会計からの出資金、基金取崩金などです。

資本的支出は27億6,942万円で、污水管の新規整備や処理場施設の更新、浄化槽の新設などの建設改良費で5億3,520万円、企業債の償還金(元金分)で支出総額の78.9%を占める21億8,423万円、基金積立金4,999万円となりました。

この結果、収支差引は9億4,532万円の不足となり、この不足額は内部に留保している資金で全額補てんしました。

(2) 下水道事業会計の現状

① 下水道事業の経費回収率



経費回収率とは

污水处理に要する経費が下水道使用料でどの程度賄われているかを見る指標で、100%を超えることが望ましいとされています。

経費回収率

$$= \text{使用料単価} / \text{污水处理原価}$$

● 使用料単価

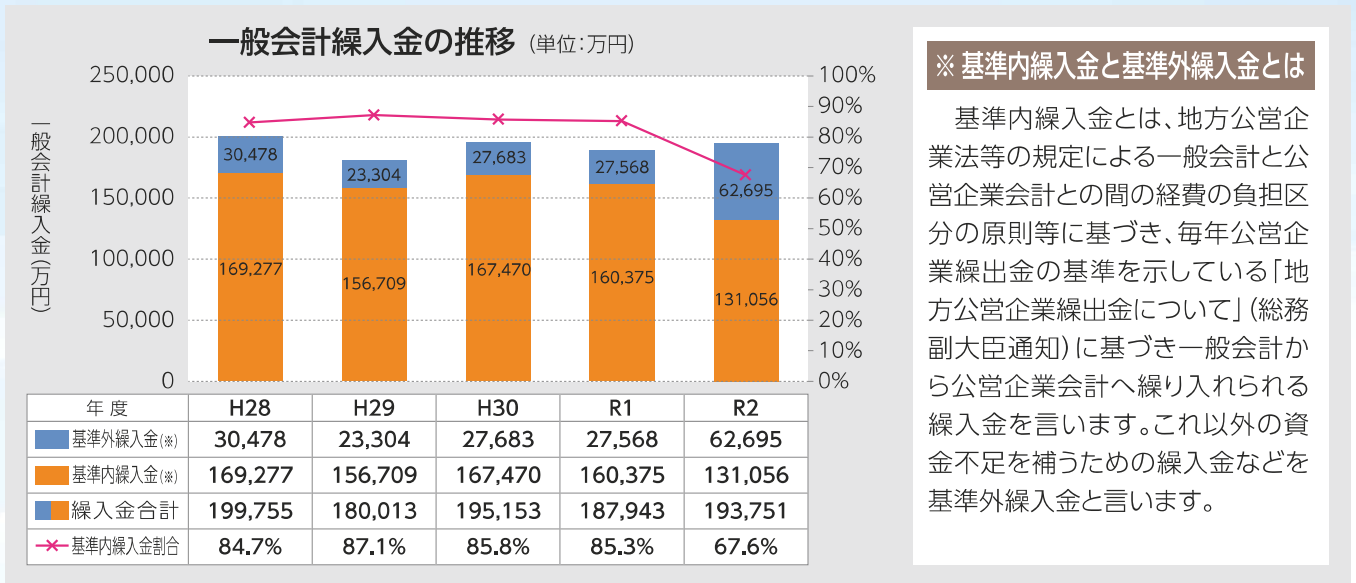
利用者の方からいただいた下水道使用料1m当たりの単価

● 污水处理原価

污水を1m³処理するのに掛かった経費

※令和元年度以前は法適用前のため、令和2年度の使用料単価及び污水处理原価と算出方法が異なります。

② 下水道事業の一般会計繰入金の推移



下水道事業における経費回収率は100%を下回っており、汚水処理費の不足分は一般会計繰入金などで補っている状況です。

一般会計繰入金は近年19億円程度で推移しています。令和2年度における一般会計繰入金は19億3,751万円で、うち基準外繰入金は6億2,695万円となっています。令和2年度は法適用により基準内繰入金の算出方法が変更になり、基準外繰入金が大きく増加しています。基準外繰入金については本来、下水道使用料で賄うべきであり、この基準外繰入金を解消するため、維持管理費などの経費の更なる削減や適正な下水道使用料の確保が必要な状況と言えます。

3. 経営改善への取り組み

本市水道事業では、東日本大震災の経験から、施設の強靱化や基幹管路の耐震化などを行い安定給水の確保に努めています。下水道事業では、公共下水道において令和5年度の完成を目指し管路整備を行い、公共下水道及び農業集落排水区域以外の区域においては市設置型浄化槽の整備を進め、下水道の普及に努めているほか、施設の長寿命化対策も行っています。また、施設管理業務や料金徴収業務などの民間委託や水道・下水道事業を行う組織を統合するなど利用者のサービス向上や業務の効率化に取り組み、経営の健全化に努めてきましたが、人口減少による料金収入の減少や、施設の老朽化による修繕費や施設更新費用の増加により、経営環境は年々厳しさを増すと予測されます。

現在、本市では、水道・下水道事業が将来にわたり安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の改定に取り組んでいるほか、「登米市水道料金及び下水道使用料等あり方検討委員会」を設置し、本市における適正な水道料金・下水道使用料のあり方について検討を進めております。



老朽化が進む保呂羽浄水場



【問い合わせ先】 登米市上下水道部 経営総務課 経営管理係 TEL 0220(52)3313

〈 令和3年12月20日発行 登米市上下水道部 〉

登米市上下水道部ホームページ <http://tome-suido.com/>